

2015/09/03

ロボットアイデアコンテスト公募要項

1. 名称

岩手大学工学部ものづくり EF ロボットアイデアコンテスト

2. テーマ

「人に寄り添う/人に代わって/人を助けて仕事をする」ロボット

3. 応募資格

岩手大学に籍を置く学生個人またはグループ（単位履修生を除く。国籍を問わない。）

4. 募集期間

9/14(月)～10/15(木)17:00 必着

- ・本募集要項末尾に応募用紙がありますので、ご利用ください。
- ・または、起業家支援室（工学部3号館3階305室）星、奥寺までメールでご連絡ください。
応募用紙（メール配信、またはペーパー配布）を差し上げます。
019-621-6407 monoef@iwate-u.asc.jp (星)
- ・直接305室においでいただければ、応募用紙をお渡しします。
- ・10/15(木)17:00必着で応募用紙を起業家支援室まで提出願います。不備がある場合は審査対象とならないことがありますのでご注意ください。提出前のご相談は随時お受けします。
なお、電子文書でも手書き文書でも構いません。

5. 主催

岩手大学工学部ものづくり EF 起業家支援室

共催・協賛 (株)カガヤ <http://www.iwate-kagaya.jp/company/gaiyo>

6. 発表ならびに表彰式

10/30(金) 13:30-17:15 工学部3号館3階 313会議室

一位 5万円相当図書券、二位 3万円相当図書券、三位 2万円相当図書券

なお、受賞者の方々には、後日、(株)カガヤ社員の皆さんにアイデア紹介（プレゼンテーション）を行っていただきます。

7. 審査員ならびに審査基準

- ・ 審査員 ◎船崎健一教授(工学部長)、水野雅裕教授(EF 長)、金天海准教授(電電・情シ)
○加賀谷輝雄会長((株)カガヤ代表取締役会長)、加賀谷浩一社長(同 社長)
◎：審査委員長 ○：審査副委員長

・ 審査基準

ユニークさ、社会的価値、開発のしやすさ、環境への優しさ、などを考慮する。

8. 知財等に関して

特許・意匠出願をお考えの方は予め出願手続きをとってから応募されることをお勧めします。
応募用紙を提出されてからは公知とみなされる可能性があります。
出願手続きについては、地域連携推進機構または起業家支援室までご相談ください。

なお、応募いただいた案件から教育的効果が高いと判断されたものについては、来年度からスタートする「地域創生特別プログラム」の製作テーマに採用されることがあります。また、商品性が高い、研究に値する、などの判断がなされた場合に相応の取り組みがなされることがあります。お知りおき願います。

9. その他

- ・ 応募用紙(フォーマット)内にまとめること。
- ・ 教員の方々に相談されてもかまいませんが、教員の推薦やコメントは審査対象となりません。
- ・ 試作、実機などは必要ありません。
- ・ 不明な点、質問等があれば起業家支援室(工学部3号館3階305室)星、奥寺までご連絡ください。随時対応させていただきます。

019-621-6407 monoef@iwate-u.asc.jp(星、奥寺)

工学部3号館3F305室

以上

10. 応募用紙の記入について

(1) 個人応募 ・氏名 ・学年 ・学部 ・学科／専攻 ・学籍番号 ・メールアドレス

・携帯電話番号 ・研究室名（研究室に所属している場合のみ記入）

チーム応募 ・上記内容の全メンバーリスト ・代表者 ・連絡先（次任者含む）

* アドレスは、1 と l、l と e、0 と オー、など区別できるように記入してください。

* もっとも連絡が取れやすい連絡先をお願いします。複数記入も可です。

(2) タイトル アイデアの内容がよく表現されているタイトルが望ましい。

(3) 目的・狙い アイデアの狙いを簡潔に表現してください。

「場面、状況、誰に(何に)、どのような仕事・作用・影響・・・をする」など

(4) 内容 そのためにどのようなロボットの構想、提案なのか、文章とイメージ(図)でわかりやすく表現してください。想定する概略の大きさも示してください。

図は手書きでも構いません。引き出し線などを使って、文章を加えても構いません。

(5) コメント 以下の5点についてコメント願います。想定や推定を含んでも構いません。

・ユニークさ（新規性や独創性）について

・社会的価値、市場性（現在 and/or 将来）、ユーザーの多寡、について

・開発の難易、実現可能性、について

・環境への優しさについて（部品・材料、動力、耐久性など）

・上記以外の特にアピールしたい点

以上

ロボットアイデアコンテスト応募用紙

公募要項の10項(1)を参照のこと。

代表者氏名		学年	
学部		研究室名	
学科/専攻		学籍番号	
Mail アドレス		携帯電話	
副代表氏名		学年	
学部		研究室名	
学科/専攻		学籍番号	
Mail		TEL	

例：10. (2) は公募要項の10項(2)を意味します。

タイトル 10. (2)	
目的・狙い 10. (3)	
コメント1 ユニークさ 10. (5)	
コメント2 社会的価値 市場性 10. (5)	
コメント3 開発の難易 実現可能性 10. (5)	
コメント4 環境配慮 10. (5)	
上記以外の アピール事項 10. (5)	

公募要項の10項(4)を参照のこと。

内容 (文章とイメージ図：引き出し線で説明、複数の図で表現、などわかりやすく。手書き可)

連絡のつきやすいアドレス、TEL 番号をお願いします。複数記入でも構いません

[illegible]